

同窓会の夜、妻は元彼と消えた

—夫には言えない再会—

同窓会の夜。

妻は、元彼と消えた。

優しい夫がいるのに。

あの夜から、私はもう戻れなくなった。

第一章 同窓会の誘い

夕食の片付けを終えたあと、綾香はソファに腰を下ろした。
テーブルの上には、ポストから取ってきたばかりの封筒が置かれている。

白い封筒。見覚えのある校章。
高校の同窓会の案内だった。

封筒を指先でなぞる。
懐かしさと、少しだけ落ち着かない気持ち。

「同窓会か……」

そのときキッチンから夫の声がした。

「どうした？」

「高校の同窓会の案内が来てて」

夫は笑った。

「いいじゃん。行ってきなよ」

——このときの綾香は、まだ知らなかった。
この同窓会が、自分の人生を変える夜になることを。

第二章 同窓会の再会（体験版）

店に着くと、すでに何人が集まっていた。
居酒屋の個室。懐かしい顔が並んでいる。

「そういえばさ」
誰かが言った。

「圭介も来るって言ってたよな」

その名前を聞いた瞬間、綾香の胸が揺れた。

そして——

個室の扉が開いた。

「悪い、遅れた」

——この続きは本編で。

同窓会の夜、妻は元彼と消えた。
優しい夫がいるのに。

あの夜から、もう戻れなくなった。